

## Executive Ability & Expert (執行能力者&専門家) 活躍促進計画

(日本産業界の人材不足問題と日本社会の高齢化問題解決の一助に！)

### 1. 主旨

日本の産業界では、あらゆる分野で人材不足が大きな問題となっている。一方では、社会の高齢化問題も大きな課題となっている。しかしながら高齢者と言われている中には、今日に至る日本産業界を技能と実行力で支えてきた多くの人材も含まれている。この「日本産業界を技能と実行力で支えてきた貴重な人材」を、実践に活かして活動できる仕組みを構築し、社会の活性化に寄与したい。

### 2. 「シニア故の能力」を効用

今日の産業界の進歩は、ITの進化と共に発展してきたと言っても過言ではない。言い換えると、ITを如何に効果的に活用するかの知恵と工夫が産業界の発展を左右し、企業競争にも大きな影響をもたらしてきた。現在のシニアは、そういう時代を生き抜いて来ており、それらの多くのノウハウを持っている人材が多く含まれている。現在の産業界活動は、数10年間積み重ねられた創意工夫で構築された「IT処理システム」の上で営まれており、その「ITシステム」内は、言わばブラックボックスで自動的に処理されるために、本来の基本ルールや創意工夫等のノウハウを知る機会がなく、当たり前の世界が沢山存在している。ここに、シニアの価値が活かされるポイントがある。(蛇足ですが、シニアとは「上級の」という意味です。単なるシルバーではありません)現代はIT化が進んでいるとはいえ、中堅中小企業、ベンチャー企業、商店、一次産業等々においては未だ未だITの活用範囲は少ない。「少ないと言うより、活用の知恵を沸かす余裕も人材もない！」と言うのが正しいのではないだろうか。また、IT企業側も同様に「ユーザ側のニーズの把握やソリューションの提案が出来る人材が乏しい」というのが実態である。そういう、中堅中小企業、ベンチャー企業、商店、一次産業等々で、能力あるシニアを活用することにより社会全体の底上げが図れる。

### 3. 計画の概要

- 第1期: まずは、能力あるシニアの「人材バンク」をつくり、需要に対応出来る体制を構築する。  
IT活用ノウハウ人材として、「企業のIT導入/活用を進めてきた利用者部門と情シス部門のOB」「SI企業のソリューションSEのOB」等を中心に募集する。人材バンク登録と並行して、需要先の開拓を図る。…顧問提供会社と連携することも検討する。  
※ベンチャー、中小企業等では「情シス」用に専任を置ける余裕がなく、社内業務のIT化は遅れている。  
SI企業がソリューションを提案に行っても対応できる人材がいないので導入に結び付かない。
- 第2期: 先行事例等の蓄積をベースに、各業種/業界、規模、等々に応じた「身近なソリューションサービス」を開発し、それらのソリューションサービスと人材サービスを組み合わせたビジネスモデルを創出し、多くのシニア人材と、多くの産業界の発展に貢献していく。

# Executive Ability & Expertのビジネス構想図

(肩書よりも実践能力重視)

